

益城の文化財 (41)

矢嶋 楯子 (津森)

「男女共同参画社会」の礎を築いた矢嶋楯子は、天保5(1834)年杉堂村の郷士、矢嶋忠左衛門直明の6女として木山町宮園(秋津川付近)で生まれました。幼少期を父直明の惣庄屋としての赴任先、葦北郡湯浦で過ごしましたが、直明の死去に伴い故郷である杉堂村へ戻りました。女子の教育が一般的ではなかった時代、楯子は母鶴子により幼いころからきびしく育てられたといわれます。

楯子は、安政5(1858)年津森村小谷の林 七郎と結婚し1男2女をもうけましたが、明治元(1868)年訳あって杉堂の実家へ戻りました。明治5(1872)年楯子は明治政府の議員となっていた兄直方が病に倒れ看病のため上京すると、向学心から40歳にして教員伝習所に学び、苦学の末女学校の教師となりました。また、明治11(1878)年に楯子の思想に多大な影響を与えることとなる米国人宣教師ミセス・ツルーと出会い、翌年には築地新栄教会にて洗礼を受けています。明治23(1890)年には、「キリスト教女学院(現 東京女子学院)」を創立し初代院長となりました。



矢嶋楯子写真



矢嶋楯子顕彰碑

楯子は50余年にわたり教育者として、また「日本キリスト教婦人矯風会」会頭として「女子教育」・「婦人参政権運動」・「廃娼運動」・「禁酒運動」に尽力しました。大正10(1921)年に87歳の高齢にして渡米しワシントン平和会議に出席、これらの功績が称えられアメリカ大統領より記念の花器が贈られました。大正14(1925)年従五位勲五等に叙され、女性の社会的地位確立のために一生を捧げたその人生は、93歳で幕を閉じました。

現在、津森小学校正門横には楯子の功績を後世へ伝えるため、「矢嶋楯子顕彰碑」が建立されています。

矢嶋楯子ドキュメンタリードラマ制作・放送

放送日 11月上旬放送予定
企画 益城町
制作 テレビ熊本(TKU)
放送局 九州フジテレビ系列7局
〇ヶ地 益城町内

益城町文化財保護委員会

文化会館

イベントスポット

なつかしの 名作映画

益城町文化会館自主事業

平成21年度文化庁
優秀映画鑑賞推進事業

9月5日(土)・6日(日)

【上映時間】

両日4本立て

- ① 10:00 ~ 11:33
- ② 12:00 ~ 13:26
- ③ 13:40 ~ 15:14
- ④ 15:30 ~ 18:33

【入場料】

当日券のみ

一般：500円
高校生以下・会員：400円

- 会員の方は、ハガキを必ずご持参ください。
- 未就学児の託児を実施します。ご希望の方は8月29日(土)午後5時までに申し込みください。
- 障がいがある方は、優遇制度があります。詳しくは会館までお問い合わせください。



① 王将 (1948)



② 弁天小僧 (1958)



③ 血槍富士 (1955)



④ 飢餓海峡 (1964)

●問い合わせ先
益城町文化会館

Tel 096-286-1511

ホームページ <http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/bunka/>

空の玄関口

ましきまち
益城町



広報 ましき

2009. 8月号 No. 395

発行／益城町

編集／秘書広報課

〒861-2295

熊本県上益城郡益城町宮園702

TEL 096-286-3111

FAX 096-286-4523

<http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/>
<携帯サイト>

<http://www.town.mashiki.kumamoto.jp/mobile/>

印刷／櫛城野印刷所

本紙は再生紙を使用しています